

学校運営協議会① 令和7年4月24日(木) 10:30～ 図書室

【委員】 永井有妃子 下山千恵子 北原由香恵 山中庄一 西東陽子 小林 勉(欠席)  
白石孝子 軸丸尚子 菊地高夫(校長) 上野健治(地域連携教員)

\*敬称略

【地域学校協働活動推進委員】 海老原 忠

【事務局】 稲葉亜希恵(教頭) 矢島 司(教務主任)

#### 1. 任命書の交付・自己紹介

- ・代表として山中 庄一様へ任命書を交付する。交付後、参加者による自己紹介を行う。
- ・学校、家庭、地域が連携する。先生方が児童・生徒の健やかな成長を育成するために、環境づくりを訴えていきたい。

#### 2. 組織づくり

- ・山中 庄一 会長、小林 勉 副会長選出。
- ・事務局より学校運営協議会の趣旨についての説明及び地域学校協働活動推進員の位置付けについての説明をする。(教頭)

#### 3. 本年度の学校教育目標と方針についての説明(学校長より)

- ・生徒数は通常学級415名、支援学級21名の合計436名。昨年度と比較して19名減。学級数は通常学級13クラス、支援学級4クラス。通常学級1クラス減、支援学級が1クラス増となった。職員構成は表のとおりであるが、今年度新規採用教員が1名配置された。女性教員で専門教科は理科。『沿革』については、新体力テストにおいて4年連続で新体力テスト優秀校を受賞している。
- ・地域及び生徒の実態では、(1)カにあるとおり、様々な困難を抱える家庭が増えている。そのため、引き続き関係機関との連携に努めていく。(2)アにあるとおり、不登校傾向やスマホ等のメディアへの依存が強い生徒が依然として多い状況である。市サポートセンター、SC、SSW等と連携して指導・支援していきたい。また(2)ウにあるとおり、授業中の学び合いに意欲的に取り組む生徒が多い。「朝の読書」の時間を設定して3年目になる。あわせてタイピング力の育成を目指した取組も実施している。
- ・学校経営全体構想図についての説明。新たに重点的に育成する資質・能力を設定し、それを達成するために具体的にどうしていくか、という視点で分かりやすく示せるようにした。学校経営の方針として「本年度の努力点と具体策」(4点)について説明する。
- ・学校だより第1号についての説明。
- ・部活動の地域移行についての説明。

#### 4. 協議・意見交換

##### (1) 学校教育目標と方針についての承認

〔質問〕体力テストでは4年連続で賞を受けていることについて、どんな取組をしているのか。

〔回答〕○体育科において体力の向上にむけた取組を工夫している。

○駅伝大会にむけて長距離を走るなど、体力づくりの土台がつくれている。

- ・学校教育目標と方針について、拍手をもって承認する。

## (2) 学校、家庭及び地域における教育課題についての協議

### ○交通安全指導について（菊地委員〔学校長〕より）

学校長が交通安全に関する課題と今年度の交通安全指導の概要及び重点について説明をし、意見を求めた。

#### <主な協議内容>

- ・小学校前で小学生と中学生が重なり合う場面があるが、「国小の子どもをみんなで守る会」（地域の方）が安全指導にあたっている。学校ボランティアの活用をしている。
- ・交通指導員が増員された（国東小）。アンダーに向かう交差点のところで中学生が2列以上で待たれると、小学生がはみ出す形になってしまう（数の問題でもある）。
- ・環境を整えることも大切だと感じる（遊歩道等）。
- ・1人（個人）で帰ると交通ルールを守ろうとする意識があるが、友達がいると、どうしても乗り方が雑になってしまう部分もある。
- ・危険箇所の環境を整える必要がある。
- ・4号線を越える生徒は、アンダーを通るようにしている（踏切を渡らないため）。中学校の下校時によるボランティアの活用ができないか。行政になげかけることも検討していく。

## (3) その他

- ・地域学校協働本部について文部科学省資料、下野市教委生涯学習文化課の資料をもとにした説明（海老原）。
- ・今後、地域学校協働本部を中学校区で立ち上げていく。今年度は、まず国分寺本部をモデル地区として立ち上げる。

## 5. その他

### (1) 今後の予定について

- ・次回7月17日（木） 13：30～  
国分寺中学区合同学校運営協議会の実施  
※詳細については、後日連絡。
- ・事務連絡 「すぐーる」の登録について

11：40終了